

南阿蘇村立白水小学校

住所：〒869-1503 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田1499番地

TEL：(0967) 62-9443 FAX：(0967) 62-9483



○児童数：72人

○職員数：16人

○めざす児童像

《規律（正しく）》

・決まりを守り、礼儀正しい子ども

《勤勉（かしこく）》

・よく考え、進んで学習する子ども

《協同（なかよく）》

・自他を大切にし、助け合う子ども

1 宣言項目

【児童の宣言項目】

- ①水を大切に使います。
- ②使わない電気は消します。
- ③ものには必ず記名をして大切に扱い、最後まで使います。
- ④エコキャップ活動を行います。
- ⑤紙の無駄遣いをしません。
- ⑥給食の残滓を減らします。
- ⑦空き缶、空き瓶等をリサイクルします。
- ⑧環境について学習します。
- ⑨動物の世話をし、植物（花、野菜）を育てます。

【職員の宣言項目】

- ①節水を心がけます。
- ②照明、OA機器のスイッチをこまめにきり、節電を心がけます。
- ③ゴミの分別収集を行い、排出ゴミを減らします。
- ④エコキャップ活動を積極的に推進します。
- ⑤教師自身が環境について深く学びます。
- ⑥紙の消費を抑え、再生紙を利用し、裏紙や切れ端を活用します。
- ⑦学校の環境整備に努め、取り組みを家庭に伝えます。

2 行動計画

(1) 児童の宣言項目について

- 環境ボランティア委員会が中心になり、集会時やISO宣言ポスター作成、給食時の放送においての呼びかけ等を通して、意識付けを図る。（自ら気付き行動しよう）
- 年間活動の中で、重点的に取り組む内容と期間を決め、実施していく。
- 各学年の環境目標により、教科や総合的な学習の時間で計画を立て、実施する。
- ゴミ問題やリサイクルなどの学習を通して、自分たちにできることは何か、日頃から考えるようにする。
- エコキャップ運動を呼びかけ、ペットボトルのキャップを各家庭より集める。

(2) 職員の宣言項目について

- 宣言項目を周知徹底し、職員自ら日常的に意識して取り組めるようにする。
- 校長、教頭、環境教育担当、事務職員が中心になり、使いやすい環境を整えたり、呼びかけの掲示を行う。

3 具体的行動

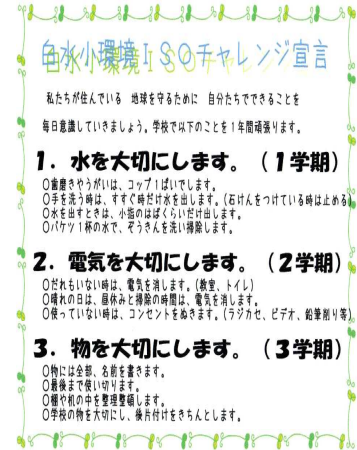
(1) 児童の宣言項目の重点化について

- ① 水を大切にします。(1学期重点項目)
- ② 電気を大切にします。(2学期重点項目)
- ③ 物を大切にします。(3学期重点項目)

① 上の3つのことを重点的に取り組めるように、白水小環境 | SO宣言項目として、各学級に掲示し、日常的に環境委員が給食時の放送で呼びかけを行い、取り組んでいる。

(右表参照)

- ② 環境委員会の常時活動として、校内パトロールを行い、取組についての状況を給食時の校内放送で放送し、意識化を図っている。
- ③ 持ち物には必ず記名するように日常から呼びかけをする。また、記名期間を設け、意識化と行動の定着を図るようにしている。



【使わない電気は消します】



【トイレを大切に使います】



【環境 | SOチャレンジ宣言】

【水を大切に使います】



(2) 児童の宣言項目における主な具体的行動

① 給食の残滓を減らします。(宣言⑥)

○ 健康・体力づくりの取組として、朝マラソンや食、健康についての学習を通して、食に対する意識が高まり給食の残滓が減っている。さらに給食の残滓調べも行い、残さず食べることの意識やがんばって食べることへの意欲付けも行っている。

② 環境について学習します。(宣言⑧)

○ 環境についての学習活動

〈3年 オオルリシジミ・草原学習〉

総合的な学習の時間に、地域の人材、元大学の先生であった岡先生にゲストティーチャーとして来ていただき、オオルリシジミの観察、草原を残していくことの大切さについて学習をした。自分のできることは何かを考え、行動していきたいという思いを持つことができた。



〈5年 水俣病の学習〉

水俣病や水俣における環境保全の取組についての現地学習、「ほっとハウス」や「水俣病資料館」での語り部さんのお話を聞いた。また、患者さん達との押し花しおり作りの交流など、人権学習と合わせて一緒に学習を行うことで、人々の思いをしっかりと考えることができた。



〈4年 ゴミの学習〉

4年生がゴミの学習をした。図書館やインターネットで調べた。なぜゴミ分別をした方がいいのか・ゴミ処理が抱える問題等、ゴミの問題について考えることができた。



③ エコキャップ活動を行います。(宣言④)

- 環境ボランティア委員会が中心となり、捨てればゴミになるペットボトルのキャップを各家庭より集め、ワクチンの費用にかえている。定期的に集まったペットボトルの重さを量り、それを掲示したり放送で発表したりして更なる推進を目指している。本年度は、集会などで定期的に呼びかけを行ったため、昨年度より（7人分）現在1月段階で4倍の（28人分）のエコキャップが集まった。2月まで、35人分のエコキャップを集めたい。



④ 空き缶・空き瓶等をリサイクルします。(宣言⑦)

- PTAとの共催によるリサイクル活動の実施（1月13日実施）
リサイクル活動の願いやお礼のチラシ配布や瓶の分別を児童会活動とボランティア活動の一環として実施した。

⑤ 動物の世話をし、植物（花、野菜）を育てます。(宣言⑨)

- あいうえお農園や学級園での栽培活動
各学年、あいうえお農園や学級園での野菜やいもの栽培、また学校花壇や一人一鉢での花の世話をしている。また、学校敷地内の花壇を学級ごとに割り振り、花の植え替えや手入れを行っている。3年生では、総合的な学習の時間と関連付けて大根を育て、地域ボランティアの協力を得て収穫・料理（煮付け）を行った。



(2) 職員の宣言項目における主な具体的行動

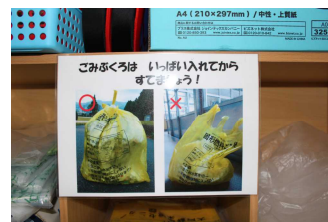
本校の学校版環境ISOの取組の周知徹底を行い、環境教育に関する各教科、領域との関連についての見直しを行い、計画的な環境教育の実践に努めている。

① 照明・OA機器のスイッチをこまめにきり、節電を心がけます。(宣言②)

- 印刷室の電気や印刷機のスイッチは、使用していない際には消すように心がけている。夜の電気の使用も極力少なくしている。

② ゴミの分別収集を行い、排出ゴミを減らします。(宣言③)

- 日々のゴミの分別収集はもちろん、弁当等の容器もきちんと分けている。また、ゴミ袋の無駄遣いを防ぐポスターも作って貼っている。(右)



③ エコキャップ活動を積極的に推進します。(宣言④)

- 教師も自宅でペットボトルのキャップを集め、エコキャップ活動を行っている。

④ 紙の消費を抑え、再生紙を利用し、裏紙や切れ端を活用します。(宣言⑥)

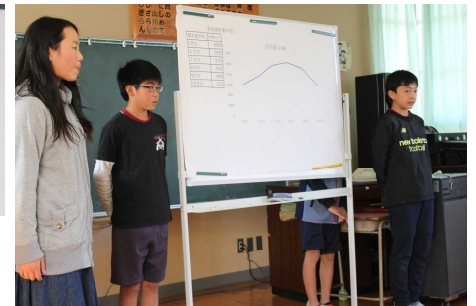
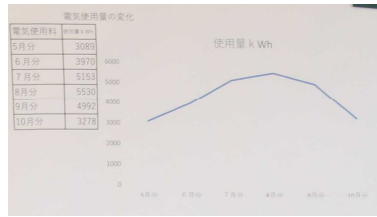
- 紙の両面印刷を積極的に実施している。また、職員向けの印刷物には、不要な印刷物の裏面を活用している。



4 見直し（成果と課題）

(1) 成果

- 11月の児童集会で、これまでの取り組みの中間報告と、今後の更なる取り組みを環境ボランティアのメンバーが訴え、成果と課題が明確になった。
- 白水小学校環境ISOチャレンジ宣言についての呼びかけを学期ごとに重点化することで、各学期毎に取り組む活動がはっきりし、児童が意識して水や電気の無駄遣いをなくそうとする姿が見られるようになってきた。今では、電気が付けっぱなしの教室や水を出しっぱなしでの手洗い、歯磨きなどはほとんど見られない。
- 環境についての学習を通して、身近な生活の中で、自分たちにできることは何か考えることができるようになってきた。
- 花いっぱい運動やいもの栽培活動などを通して、植物を育てる楽しさや喜びを味わうことができ、そのことが環境に良い影響を及ぼすことにも気づいた。
- 今年初めての取り組みで、昼休みに環境ボランティア委員会が、給食時に花壇の草取りを呼びかけ、昼休みに環境ボランティア委員会とボランティアのメンバーで草取りを行った。
- エコキャップ活動を通して、ゴミとして捨てられるものにも利用できるものがあることがわかってきた。また、困っている人たちを助けようとしたり身近な環境だけでなく世界にも目を向けることができるようになってきた。
- エコキャップ活動は保護者にも広がり、家庭や職場でもキャップ集めに取り組んでいただいている。
- 集会や、縦割り班の掃除替えの時、また給食時間に学校版ISOの取り組みは、「自ら考え行動すること」を繰り返し伝えたことで、トイレのスリッパが並んでいない時に並べたり、教室に給食時のストローやストローの殻が落ちているのを見て拾ったりする児童の数が増えた。



(2) 課題

- 環境ボランティア委員会が、給食時の放送などで環境ISOやエコキャップ集めについての呼びかけを行っているが、今後はさらに環境に関するクイズなども取り入れて、児童の興味・関心を高めていきたい。
- 環境についての学習では、児童が学んだことを自分たちの生活の中で、すぐに生かしていけるような取組を考えていくことも大切である。また、地域の清掃活動などにも積極的に参加しようとする意識を作っていく必要がある。
- 消費電力、水や紙の使用量については、職員の職務に起因するものによる増加も考えられ、職員一人一人が意識して、継続的に取り組んでいく必要がある。